

理運鑑定室

相性・関係再構築鑑定書

奈緒さん × 悠斗さん

「戻れるか」より先に、戻るなら何を変える必要があるのかを見る。

今回のテーマ

惹かれ合った理由 / 追う・離れるの反復 / 再接続の条件 / 同じ問題を繰り返さない設計 / 今後2年の動き方

鑑定対象期間 2026年9月24日 - 2028年9月24日

理運鑑定室

YOUR CONSULTATION

あなたからいただいたご相談

いただいた文章は、意味や温度感を変えず、そのまま掲載しています。

ご相談内容

別れて4か月です。連絡しない方がいいと分かっているのに、毎日「これなら送っても不自然じゃない」という理由を探しています。

付き合っていたのは約2年です。大きな浮気や決定的な喧嘩があったわけではありません。別れ際に彼から言われたのは、「嫌いになったわけじゃない。でも一緒にいると疲れる」という言葉でした。

私は問題があるなら話し合って解決したいタイプです。彼は嫌なことがあると少し距離を置きたがります。私はその距離が不安で、理由を確認しようとして連絡を増やします。すると彼はさらに黙る。その繰り返しだったと思います。

別れてから最初の1か月は何度か連絡しましたが、今は私から送らなければ連絡はありません。SNSはつながったままです。

私はまだ好きです。ただ、「好きだから戻りたい」だけで戻ったら、また同じことになる気もしています。

彼はどういう時に距離を取りやすい人なのか。私はなぜ距離を置かれると追いかけすぎてしまうのか。二人の関係は、何が噛み合っていて、何が繰り返し問題になったのかを知りたいです。

もし再び話せる可能性があるなら、今すぐ動くべきなのか、いったん離れた方がいいのか。復縁そのものより、「戻るなら何を変えないと意味がないのか」を知りたいです。

今回、鑑定で知りたいこと

1. 二人が惹かれ合いやすかった部分と、別れにつながるまで繰り返しやすかった関係パターンを知りたい
2. 相手が距離を取りやすい条件と、自分が追いかけすぎやすい条件を知りたい
3. 再接続を試すなら、どのような連絡・距離感が二人には合うか知りたい
4. 復縁しても同じ問題を繰り返さないために何を変える必要があるか知りたい
5. 今後2年の中で、関係を見直す時期と自分の動き方を知りたい

QUESTIONS

今回この鑑定で答えること

1 二人が惹かれ合いやすかった部分と、別れにつながるまで繰り返しやすい関係パターンを知りたい

本編で根拠を分けて読み、終盤で一問ずつ結論を回収します。

2 相手が距離を取りやすい条件と、相談者が距離を置かれた時に追いかけてほしい条件を知りたい

本編で根拠を分けて読み、終盤で一問ずつ結論を回収します。

3 再接続を試す場合、二人に合う連絡方法・頻度・距離感を知りたい

本編で根拠を分けて読み、終盤で一問ずつ結論を回収します。

4 復縁後に同じ問題を繰り返さないため、二人が変える必要のある関係パターンを知りたい

本編で根拠を分けて読み、終盤で一問ずつ結論を回収します。

5 今後2年の中で、関係を見直しやすい時期と相談者の動き方を知りたい

本編で根拠を分けて読み、終盤で一問ずつ結論を回収します。

基本情報

出生時刻（個人情報）				
相談者	奈緒さん	（個人情報）	母子手帳で確認済み	看護師 / ENFP-T
お相手	悠斗さん	（個人情報）	本人から聞いた時刻・記録未確認	営業職 / ISTP-T

今回使用した鑑定領域

西洋占星術の二者比較、四柱推命の二者比較、姓名判断は各人の背景情報、本人申告 MBTI は反応パターンの補助、さらに 2026 年 9 月 24 日から 2028 年 9 月 24 日までの二人それぞれの時期計算を重ねています。

悠斗さんの出生時刻は具体的な時分があるため多くの要素を使用できますが、記録確認済みではありません。そのため、悠斗さん側の ASC・MC・ハウス重ねなど、時刻依存性が高い項目は主要判断に使っていません。

RELATIONSHIP OVERVIEW

まず、二人はどんな関係か

理運の鑑定基準

二人は「合わなかったから別れた」ではありません。むしろ、価値観・惹かれ方・会話・行動テンポには自然に噛み合う部分が多い。その一方で、奈緒さんが安心を取り戻そうとする動きが、悠斗さんには自由を失う圧力として届きやすく、悠斗さんが自分を守るために距離を取るほど、奈緒さんの不安が増える。この循環が関係を疲れさせやすい二人です。

鑑定の要点

この関係の鍵は「愛情の量」ではなく「不安が出た時の処理方法」です。答えを急ぐほど距離が広がり、余白を保ちながら具体的に話すほど、二人の本来の噛み合いやすさが戻ります。

今回、特に強く出ている算出ポイント

価値観と好みがかなり近い 金星同士がトライン、実オーブ0.67度。関係の「好き」「心地よい」「こういう付き合い方がいい」の基礎は合わせやすい。	会話が通じる土台がある 奈緒さんの水星が悠斗さんの太陽・金星とトライン。平常時は、奈緒さんの言葉が悠斗さんの自己感覚や好みに届きやすい。
行動テンポは強く同期する 火星同士がコンジャンクション。動く時は一緒に動きやすい反面、緊張時は互いの行動圧も強くなりやすい。	距離の変化が感情を揺らしやすい 奈緒さんの月と悠斗さんの天王星・海王星がオポジション。予測できない距離や曖昧さが、安心感を大きく揺らしやすい。
重要な話ほど重くなりやすい 奈緒さんの水星・金星と悠斗さんの冥王星にスクエア。気持ちや関係の核心を扱うほど、確認・説得・主導権の圧が強まりやすい。	長期運用の資源もある 奈緒さんの土星が悠斗さんの月とトライン、金星とセクスタイル。境界や約束を具体化すれば、安定を作る力があります。

本編の読み方

PART	内容
1	二人それぞれの反応の仕組み
2	なぜ惹かれ合ったのか
3	なぜ「追う / 離れる」が反復したのか
4	距離を取りやすい条件・追いかけすぎやすい条件
5	再接続するなら、連絡と距離感をどう変えるか
6	復縁後に同じ問題を繰り返さないための関係設計
7	今後2年の時期と動き方
8	5つの質問への最終回答

PART	内容
APPENDIX	今回の算出根拠一覧

PART 1

PART 1 二人それぞれの反応の仕組み

奈緒さん - 「話せば近づける」と感じやすい人

奈緒さんは、この関係では「気持ち分からない状態」を放置するより、言葉にして関係を整える方へ動きやすい人です。平常時にはその力が長所として働きます。奈緒さんの水星は悠斗さんの太陽・金星と自然につながっており、気持ちを言葉にする、相手の良いところを見つける、二人の関係を前へ進めるために話す、という働きは、本来この二人にとってプラスです。

ただし、距離が急に変わった時だけは別です。奈緒さんの月と悠斗さんの天王星・海王星のオポジションは、「相手の反応が読めない」「昨日までの距離感が急に変わる」「はっきり断られていないのに、近づいてもこない」といった曖昧さが、奈緒さん側の安心感を大きく揺らしやすい構造です。ここで奈緒さんは、相手を責めたいというより、不確かさを減らすために確認したくなります。

さらに、水星と冥王星のスクエアは、重要なテーマほど「表面だけで終わらせたくない」「本当の理由まで確認したい」となりやすい配置です。質問の数が増える、言葉の裏を読みたくなる、相手が曖昧なほどこちらが具体化しようとする。これが強みとして出れば深い対話ですが、関係が緊張している時には、相手にとって「今すぐ答えを出さなければならない圧」に変わります。

MBTI との照合

本人申告の ENFP-T は、考えを人とのやり取りの中で広げたり、可能性を言葉にしながら整理したりする行動スタイルと重なります。ここでは MBTI を結論の根拠にはせず、「なぜ沈黙より会話を選びやすいか」を生活場面へ翻訳する補助として使っています。

悠斗さん - 「整理できてから話したい」となりやすい人

悠斗さんは、奈緒さんと価値観や行動感覚が大きくズレている人ではありません。太陽同士、金星同士、火星同士の強い接続を見ると、付き合い始めや平常時には「説明しすぎなくても一緒に動ける」「好みやテンポが合う」と感じやすい組み合わせです。だからこそ、二年ほど関係が続いたことにも、占術上の構造はよく合っています。

一方で、悠斗さん側の天王星・海王星が奈緒さんの月と向き合うため、彼が自分のペースへ戻ろうとする動き、気持ちをまだ言葉にできない状態、結論を保留して一人で整理する時間は、奈緒さん側には「関係が消えそうな距離」として伝わりやすいです。ここは誰が悪いかではなく、同じ沈黙を二人が別の意味で受け取る場所です。

四柱推命では、悠斗さんの日主の水が奈緒さんの日主の木を生じる方向が出ています。奈緒さんから悠斗さんを見ると、相手の日干は「印綬」という、受容・支援・蓄積の記号になります。平常時の悠斗さんは、奈緒さんにとって「自分を受け止めてくれる」「落ち着かせてくれる」側として感じやすい。一方、悠斗さんから奈緒さんを見ると、奈緒さんの日干は「傷官」という、表現・批評・改善を働かせる記号です。奈緒さんの言葉は、彼にとって刺激になり、関係を動かす力にもなりますが、疲れている時には「修正を求められている」と感じやすくなります。

MBTI との照合

本人申告の ISTP-T は、すぐに感情を共有するより、自分の中で状況を整理してから必要なことだけ話す処理傾向と重なります。二人の問題は「会話ができる人 / できない人」の差ではなく、話すまでに必要な時間が違うことです。

PART 2

PART 2 なぜ二人は惹かれ合ったのか

1. 「好き」の基準が近い

最も分かりやすいのは、金星同士のトラインです。実オーブ0.67度とかなり近く、好み、心地よさ、関係に求める温度感には自然な親和があります。これは「何をしても同じ価値観」という意味ではありません。むしろ、日常の小さな心地よさ、相手を好きだと思える理由、恋人として一緒にいる時の自然さが作りやすい、ということです。

奈緒さんの金星は悠斗さんの月ともセクスタイルです。奈緒さんの好意や受け入れ方が、悠斗さんの情緒に届く経路があります。さらに金星と木星の接続もあり、付き合っている時には「一緒にいると少し世界が広がる」「相手の良いところを大きく見られる」という感覚が生まれやすい組み合わせです。

2. 会話には、もともと通じやすさがある

奈緒さんの水星が悠斗さんの太陽・金星とトラインになっているため、平常時の会話はむしろこの二人の強みです。奈緒さんが話題を出し、悠斗さんがそれを受け取り、自分の感覚に落とし込む。気まずくない時には、会話が相手の自己感覚や好みに自然につながりやすいです。

だから、別れの原因を「会話が合わない」とまとめると本質を外します。問題は、通常の会話ではなく、関係の危機について話す時だけ会話の質が変わることです。水星と冥王星のスクエアがあるため、重要なテーマほど話が深くなり、答えを求める圧も強くなりやすい。普段は通じる二人だからこそ、「なぜこの話だけ通じないのか」と奈緒さん側の焦りも強まりやすかったはずです。

3. 動く時のテンポが似ている

火星同士のコンジャンクションは、二人が何かを決めて動く時のテンポが近いことを示します。デート、旅行、仕事の話、やりたいことを決める時など、「やるならやろう」となる場面では進みやすい。恋愛関係としての活力も保ちやすい組み合わせです。

ただし、火星は衝突時にも働きます。片方が強く出た時、もう片方も反応しやすく、「一人だけが熱くなって終わる」のではなく、関係全体の行動圧が上がりやすい。そのため、問題が起きた時には「今解決する」「今距離を取る」という別方向の行動が同時に強くなり、押し引きが激しくなりやすいです。

4. 安定を作る力も、ちゃんとある

奈緒さんの土星が悠斗さんの月とトライン、金星とセクスタイルになっています。土星は長期運用、境界、責任、約束を扱うため、二人はルールを具体化すると安定しやすい関係です。「自然に分かり合えるからルールは要らない」ではなく、連絡頻度、一人時間、話し合うタイミングを言葉にした時に、この相性の良さが長持ちします。

ここまでの結論

二人は、惹かれる理由が弱かったわけではありません。むしろ「自然に合うところ」が多かったから、距離調整のルールを作らないまま進めてしまった。その結果、問題が起きた時だけ別の関係のように噛み合わなくなりました。

PART 3

PART 3 なぜ「追う / 離れる」が反復したのか

関係を疲れさせたのは、愛情不足より「安心の取り方の逆方向」

奈緒さんは不安が出た時、確認して安心を取り戻そうとします。悠斗さんは負荷が高まった時、距離を取って自分の中で整理しようとしています。二人とも、自分なりに関係を壊さないための方法を使っているのに、その方法が相手には逆効果になりやすい。ここがこの関係の一番重要な部分です。

段階	奈緒さん側に起きやすいこと	悠斗さん側に起きやすいこと	関係への影響
1. 違和感	返信・態度・距離の変化を察知し、理由を知りたくなる	まだ整理できておらず、説明より距離を必要とする	同じ沈黙を違う意味で受け取る
2. 確認	言葉を増やし、関係の状態をはっきりさせようとする	質問量や結論要求を「今答える負荷」と感じやすい	会話が安心ではなく圧になる
3. 退避	返事が減るほど不安が増え、別の言い方を探す	さらに情報量を減らし、自分のペースへ戻ろうとする	追う / 離れるが強化される
4. 核心化	本当の理由・本音・今後まで一度に確認したくなる	話すほど結論を迫られる感覚が強まる	水星・金星と冥王星の緊張が前面化
5. 消耗	「こんなに話したいのに届かない」と感じる	「何を言ってもまた話が続く」と感じやすい	好き嫌いとは別に疲労が蓄積する

西洋占星術で見る「距離が揺れる」構造

奈緒さんの月と悠斗さんの天王星のオポジションは、感情の安心と自由・変化の要求が正面から向き合う配置です。相手が急に自分の時間を必要とする、距離感を変える、いつもと違う反応をする、といった動きが、奈緒さんの安心感を刺激しやすい。逆に奈緒さんが安心のために関係を固定しようすると、悠斗さん側の自由・自律テーマを刺激しやすくなります。

月と海王星のオポジションは、曖昧さを増やします。相手がはっきり拒絶していない時ほど、「まだ大丈夫かもしれない」「でも離れている気もする」と複数の解釈が残りがち。ここで感情が事実より先に膨らむと、相手の一つの返信や沈黙に意味を持たせすぎやすくなります。

四柱推命で見る「近さと緊張の同居」

二人の日支には「害」の関係があり、さらに二命式を合わせると、寅・巳・申の刑が完成します。これは「悪い縁」という意味ではなく、近いからこそ見えにくいズレや、内側で圧がたまりやすい構造です。一方で、巳・午・未の三会も二人を合わせることで完成しており、同時に「一緒になることで動きが強くなる」関係でもあります。

つまり、二人は「何も起きない穏やかな相性」ではありません。うまくいく時は進みやすい。崩れる時も進みやすい。関係のエネルギーが強い分、問題が出た時の処理方法が未設計だと、反復も速くなります。

緊張アンカー

別れにつながったのは、どちらか一人の欠点ではなく、「奈緒さんは会話で距離を縮める」「悠斗さんは距離を置いてから会話する」という順番の違いを、二人のルールにできなかったことです。

PART 4

PART 4 距離を取りやすい条件 / 追いかけすぎやすい条件

悠斗さんが距離を取りやすくなる条件

- 感情が高い状態で、複数の質問に一度に答えることを求められた時。
- 「今ここで関係の結論を出す」ことと「相手を安心させる」ことを同時に求められた時。
- 一人で整理する時間が「拒絶」「愛情がない」と解釈され、距離そのものを否定された時。
- 話し合いが、問題の一つではなく、過去の出来事・本音・将来まで連続して広がった時。
- 短い返事をした後に、さらに説明を求める連絡が続き、終点が見えなくなった時。

この読みは「悠斗さんは話し合いが苦手だから逃げる」という単純化ではありません。奈緒さんの水星は悠斗さんの太陽・金星と調和しており、普段の会話はむしろ資源です。問題は、感情が高い時に会話量が増えすぎることで、悠斗さんには、話すことより「話す前に自分の内部を整理できる余白」が必要です。

奈緒さんが追いかけすぎやすくなる条件

- 相手の距離が変わったのに、その理由が言葉で共有されていない時。
- 「嫌いではない」「でも今は無理」のように、好意と距離が同時に存在している時。
- SNSはつながっている、返信はゼロではない、完全拒否でもない、という余地が残る時。
- 大切な話を途中で止められ、自分の中で会話が未完了になった時。
- 相手を失う怖さよりも、「何が起きたのか分からない」不確かさが強くなった時。

奈緒さんの月と天王星・海王星の緊張は、まさに「距離の変化」と「曖昧さ」が安心を揺らす構造です。さらに水星・金星と冥王星の緊張は、重要な関係ほど深く確かめたくなる力を強めます。だから、奈緒さんに必要なのは「連絡したくない人になること」ではありません。連絡したい衝動と、実際に連絡する行動を分けることです。

二人がそれぞれ変えるべきポイント

奈緒さん側 安心を相手の即時返信だけに置かない。確認したいことを一度に一つへ絞り、相手が整理する時間を「関係の終了」と結びつけない。	悠斗さん側 距離を取る時に完全沈黙へ入らない。「今は整理したい。〇日頃にこちらから連絡する」のように、距離に出口を作る。
二人共通 話し合いを始める前に「今日は何を決める話か」を一つにする。感情の確認・原因追及・将来判断を同じ会話で全部やらない。	関係の判断基準 連絡量が増えたかではなく、距離があっても不安と圧力が同時に増えないかを見る。ここが変わっていれば、関係の質が変わっています。

PART 5

PART 5 再接続するなら、連絡と距離感をどう変えるか

今すぐの基本方針

「復縁の話をするために連絡する」のではなく、「一往復しても関係が重くならない会話ができるか」を確認するところから始める。最初の目的は、復縁ではなく接続の質を変えることです。

最初の連絡は「一通・一目的・答えを迫らない」

この二人は、会話そのものが悪いわけではありません。むしろ平常時の会話は強みです。だから再接続の最初に必要なのは、気持ちの総括ではなく「普通に話せる感覚」を戻すことです。長文で謝罪・反省・復縁意思・質問を全部入れると、悠斗さん側には再び「答えを出す会話」の入口に見えやすくなります。

連絡例 1 - 近況だけを軽く開く

例文

「久しぶり。最近ふと思い出して、元気になってるかなと思って。仕事忙しいと思うから、返信は気にしないでね。」

連絡例 2 - 共通の話題が本当にある時

例文

「この前〇〇の話を見かけて、前に話してたのを思い出した。元気になってる？」

大事ななのは、返信不要と書くこと自体ではなく、「返信がなくても追撃しない」ことです。言葉だけで余白を作って、行動で余白を消すと、相手には以前と同じ圧として届きます。

返信が来た後の距離感

- 相手が短文なら、こちらも短文。情報量を合わせる。
- 一回の返信で、過去の関係を評価しない。「返信が来た＝復縁の脈」と急いで意味づけしない。
- 質問は一度に一つ。返答の後に別テーマへ移る。
- 過去の別れの話をするなら、雑談が戻ってから。初回から「なぜ疲れたの？」へ行かない。
- 相手からも話題が返ってくる、質問が返ってくる、会話が自然に続く、という双方向性を確認する。

会う提案は、関係の結論ではなく短い接点にする

再会を提案する時は、「話し合いたい」より「30分くらいお茶でも」のように、終点が見える形が二人には合います。悠斗さん側は長時間の感情処理を警戒しにくくなり、奈緒さん側も、会えた事実だけで関係の答えを出そうとせずに済みます。

やらない方がよいこと

避けたい行動	なぜこの二人には逆効果になりやすいか
長文の謝罪＋復縁意思＋質問を一	一回の返信に必要な心理負荷が大きくなり、距離を取りたい反応を刺激しやすい

避けたい行動	なぜこの二人には逆効果になりやすいか
通にまとめる	
返信がない理由を別の話題で再確認する	奈緒さんの不安は一時的に下がっても、悠斗さんには「どの入口からでも同じ話になる」と伝わる
SNS の反応を関係のサインとして追う	曖昧さを増やし、月・海王星の「解釈が増える」側を強めやすい
友人経由で気持ちを探る	本人同士の距離設計を変えず、関係の圧だけを別ルートへ移しやすい
会えた日に復縁の答えまで取りに行く	再接続の成功と復縁判断を同じ日に重ねると、相手が再び退避しやすい

PART 6

PART 6 復縁後に同じ問題を繰り返さないための関係設計

戻る条件は「好きかどうか」ではなく、次の5つが作れるか

1 距離を取る時の「出口」を決める

「今は一人で整理したい。〇日頃にこちらから連絡する」のように、離れる側が戻る目安を言う。奈緒さんは待つ期限が分かり、悠斗さんは距離を守れます。

2 話し合いは一回一テーマ

今日決めることを一つにする。「最近の連絡頻度」だけ、「一人時間の取り方」だけ。過去の不満・愛情確認・将来設計まで一度に広げない。

3 安心要求を「確認質問」から「希望表明」へ変える

「どうして返さないの？」ではなく、「忙しい時でも一言だけあると私は安心しやすい」と伝える。相手に説明義務を課すより、自分の必要条件を見せる。

4 一人時間を「愛情の減少」と結びつけない

二人の相性では自由・距離が重要テーマです。一人時間を確保しても関係が壊れない経験を積むことが、復縁後の最大の修復になります。

5 戻る前に「同じ時の対処」を一度だけ話す

「また私が追いたくなった時」「またあなたが黙りたくなった時」にどうするかを、仲が良い時に決めておく。問題が起きてからルールを作ろうとしない。

うまくいっているサイン

奈緒さん側

返信が遅い日があっても、すぐに関係の危機へ意味づけしない。確認したいことを一つに絞れる。

悠斗さん側

距離を取る必要がある時に、完全沈黙ではなく「いつ戻るか」を一言残せる。

二人の会話

話し合いの途中で休憩を入れても「逃げた / 見捨てた」にならず、後で再開できる。

関係全体

連絡量の多さより、少ない連絡でも安心が保てる。ここが変われば、以前の二人とは別の関係になっています。

同じ失敗へ戻っているサイン

- 奈緒さんが「理由が分かるまで連絡を止められない」状態へ戻る。
- 悠斗さんが「何も言わずに距離を取れば、そのうち落ち着く」と完全沈黙へ戻る。
- 一回の会話で過去・現在・将来を全部決めようとする。
- 返事の長さ・SNS・既読など、関係外の小さなサインを答えの代わりに使い始める。
- どちらか一方だけが「我慢して合わせる」ことで関係を維持しようとする。

復縁の判断基準

「まだ好きだから」ではなく、「以前と同じ緊張場面で、以前と違う行動が取れるか」。これが一番分かりやすい判断基準です。

PART 7

PART 7 今後2年 - 関係を見直す時期と動き方

ここでは、二人それぞれに計算された時期の流れを重ね、「関係を動かしやすい時期」「整える時期」「急がない方がよい時期」を、相談内容に合わせて整理します。時期だけで復縁を決めるのではなく、その時に何をするかでセットで見ます。

2026年9月 - 11月 | まずは「関係の結論」より、自分の反応を変える

奈緒さん側は、感情面に制約や整理をかける土星の働きと、生活や自己像を組み替える天王星の働きが同時に強い時期です。悠斗さん側には、9月末から10月にかけて金星への木星ラインがある一方、10月後半からは天王星・土星が「今まで通りではない動き方」を求める流れに入ります。

このため、今すぐ連絡すること自体を一律に避ける必要はありません。ただし、復縁の結論を取りに行く連絡より、「短い往復で圧を作らない」という新しいやり方を試す方が、この時期の使い方として合っています。連絡するなら一通、返答を迫らない、追撃しない。この三つを守れる時だけ動くのがよいです。

この時期の行動

連絡するなら軽く。関係の総括・謝罪の長文・将来判断は後回し。奈緒さん自身が「返事がなくても追撃しない」を実行できるかを先に確認する。

2027年2月後半 - 5月 | 第一の再接続・再設計候補

ここは二人の時期が最も重なりやすい期間です。奈緒さんには3月から5月に木星と金星のコンジャンクション、4月には土星と金星のラインが出ます。悠斗さんにも2月末から5月末に木星と金星のライン、4月には土星と金星のラインが出ています。二人とも「関係を広げる」だけでなく、「関係を現実的に整える」テーマが同時に出るのが特徴です。

さらに四柱推命では2027年が二人とも丁未。奈緒さん側では食神、悠斗さん側では正財として現れます。奈緒さんは「言葉や表現を柔らかく出す」、悠斗さんは「現実的に扱える形へ整える」という役割が噛み合いやすく、関係の再設計には使いやすい年です。

この時期に向くこと

再会、短い食事、別れの原因を一つずつ話す、連絡頻度や一人時間のルールを具体化する。「復縁するか」より先に「前と違う関係を作れるか」を試す。

2027年7月 - 11月 | 関係を「元に戻す」より、形を変える時期

奈緒さん側では冥王星が太陽へオポジションする長い再編期が入り、悠斗さん側でも天王星が太陽へオポジションする期間が重なります。二人とも「以前の自分のままではいけない」方向が強くなるため、関係が再接続していたとしても、昔と同じ付き合い方へ戻すことは難しくなりやすい時期です。

逆に言えば、ここまでに関係がつながっていれば、役割・距離・付き合い方を本気で変える機会になります。「前みたいに戻りたい」ではなく、「今の二人ならどう付き合うか」を話すことが重要です。

この時期の注意

相手の変化を「気持ちが冷めた」と一つの意味に固定しない。二人とも生活・自己像の再編が強いので、変化を関係の答えに短絡させない。

TIMING CONTINUED

PART 7 今後2年 - 続き

2028年3月 - 6月 | 現実面のテスト期間

2028年前半は、関係を夢や期待で進めるより、「実際に続けられる形か」を見る時期です。奈緒さん側は5月から6月に土星と太陽のスクエアが入り、自分の方向性と責任・制約を調整するテーマが強まります。悠斗さん側は土星回帰後の構造調整が続き、木星と金星のスクエアも重なります。

四柱推命でも2028年は二人とも戊申ですが、悠斗さん側では偏官（七殺）として圧力・決断テーマが強く、日支への冲も成立します。一方、奈緒さん側では正財として現実処理・管理のテーマが前に出ます。関係が続いているなら、ここでは「好きか」より、生活時間、仕事、連絡、会う頻度など、現実に戻る仕組みを確認する方が有効です。

この時期に向くこと

関係の運用テスト。忙しい時でもルールが機能するか、片方だけが無理していないか、距離ができた時に以前の追う / 離れるへ戻らないかを確認する。

2028年8月 - 9月 | 第二の行動・見直し候補

奈緒さん側には8月末に木星と火星のトライン、9月には木星と太陽のセクスタイルが入り、動く力と前向きな展開が出やすくなります。悠斗さん側にも9月上旬に木星と火星のトラインがあり、二人とも「考えるだけでなく動く」力が同時に出ます。

ただし、悠斗さん側では8月末に木星と水星のスクエアもあり、話が大きくなりすぎる、説明が多くなる、結論を急ぐ、といったズレには注意が必要です。ここは再会や具体的な一歩には使いやすい一方、会話は短く具体的にした方が活かせます。

この時期に向くこと

関係を前へ進める、会う頻度を増やす、今後の形を具体化する。ただし「一回の会話で全部決める」より、段階的に合意を積み上げる。

2年間の使い分け

期間	テーマ	推奨する動き	急がない方がよいこと
2026/9-11	反応の組み替え	軽い接続・追撃しない練習	復縁の結論
2027/2 後半-5	第一の再接続候補	再会・一つずつ話す・関係ルール作り	過去の総決算を一度にすること
2027/7-11	関係の再編	新しい付き合い方の検討	昔の形への完全復元
2028/3-6	現実面のテスト	生活・仕事・連絡の運用確認	理想だけで進めること
2028/8-9	第二の行動候補	具体的な前進・再評価	勢いで結論を急ぐこと

FINAL ANSWERS

PART 8 5つの質問への最終回答

1

二人が惹かれ合いやすかった部分と、繰り返しやすい関係パターン

惹かれ合いやすさは強いです。価値観・好み、会話、行動テンポに自然な一致があります。一方、問題が起きますと、奈緒さんは会話で安心を取り戻し、悠斗さんは距離を取って整理しようとする。この「安心の取り方が逆方向」という循環が別れまで繰り返されやすかった核心です。

2

相手が距離を取りやすい条件と、自分が追いかけすぎやすい条件

悠斗さんは、感情が高い状態で答えを急かされる時、複数の論点を一度に処理する時、一人時間が否定される時に距離を取りやすい。奈緒さんは、距離の理由が不明・好意と距離が同時に存在・会話が途中で止まる時に、確認行動が増えやすいです。

3

再接続を試すなら、どのような連絡・距離感が合うか

最初は一通・一目的・追撃なし。返事の長さに合わせて、過去の関係の話を初回から始めない。会うなら短い時間から。復縁の可否を聞くより「普通に話しても重くならないか」を先に確認する距離感が合います。

4

復縁しても同じ問題を繰り返さないために何を変えるか

奈緒さんは「不安＝すぐ確認」を分ける。悠斗さんは「距離＝完全沈黙」にしない。二人で、距離を取る時の出口、一回一テーマの話し合い、連絡頻度、一人時間を先に決める。復縁の条件は「以前と同じ場面で、以前と違う行動が取れること」です。

5

今後2年の中で、関係を見直す時期と自分の動き方

今すぐは軽い接続に留め、関係の結論は急がない。第一候補は2027年2月後半から5月で、特に3-4月は再会・対話・ルール作りに使いやすい。2027年後半は関係の形そのものを変える時期。第二候補は2028年8-9月で、具体的に動きやすい一方、話を大きくしすぎないことが重要です。

ACTION PLAN

奈緒さんが今、持ち帰る行動

最重要3点

1 連絡する前に「目的」を一つにする

近況を知りたいのか、会いたいのか、謝りたいのか、復縁を確認したいのか。複数あるなら、その日は一つだけ。目的が多いほど、以前の会話パターンへ戻ります。

2 返事を「答え」にしない

返信が来た / 来ない、短い / 長いを、関係全体の判定に使わない。見るべきなのは、数回のやり取りの中で双方向性が戻るか、会話後に双方の負担が増えないかです。

3 復縁より先に、関係の使い方を変える

二人は相性の基礎が弱いわけではありません。変えるべきは「不安が出た時の手順」です。そこが変わらないまま戻ると、同じ問題が再現しやすい。そこが変われば、同じ二人でも関係の質は変わります。

次の1回で試すこと

- 送るなら、短い一通だけ。返信がなくても追加連絡しない。
- 返信が来ても、その日のうちに関係の総括へ移らない。
- 会話が自然に続くなら、相手から質問や話題が返るかを見る。
- 会う提案をするなら、短時間・目的を重くしない形にする。
- 過去の話をする時は「私が悪かった / あなたが悪かった」ではなく、「次に同じことが起きた時どうするか」に焦点を移す。

迷った時の判断基準

迷い	見るポイント
今、連絡していい？	返信を取りに行くのではなく、追撃なしの一通で終わられるか
彼はまだ気持ちがある？	気持ちを推測するより、相手から話題・質問・会う提案が返ってくるか
復縁を切り出していい？	別れの原因を一つずつ話し、以前と違う対処が実際にできた後か
待つべき？	待つことが「何もしない」ではなく、自分の反応を変える時間になっているか
もう諦めるべき？	相性の強さではなく、現実の双方向性と新しい関係ルールが作れるか

鑑定の要点 -- 最終まとめ

奈緒さんに必要なのは、気持ちを消すことではありません。「好きだからすぐ確かめる」をやめ、好きなままでも余白を保てること。悠斗さんに必要なのは、一人で整理することをやめることなく、距離を取る時にも関係の出口を残すこと。この二つが揃った時、二人のもともとの噛み合いやすさが初めて長期運用できる形になります。

EVIDENCE

APPENDIX 今回の算出根拠一覧

ここでは、本文で実際に使った計算結果だけを、読み返せる形で整理しています。専門用語は必要最小限にし、本文のどの判断に使ったかを併記します。

西洋占星術 - 二者間の主要アスペクト

奈緒さん側	関係	悠斗さん側	実オーブ	本文での使用
奈緒さん 太陽	トライン	悠斗さん 太陽	5.17°	自己方向・価値観の自然な調整
奈緒さん 太陽	セクスタイル	悠斗さん 火星	1.91°	行動・推進の協力経路
奈緒さん 水星	トライン	悠斗さん 太陽	4.29°	会話が自己感覚へ届きやすい
奈緒さん 水星	トライン	悠斗さん 金星	3.47°	言葉と好み・親和性の調和
奈緒さん 金星	セクスタイル	悠斗さん 月	2.35°	好意と安心感の接続
奈緒さん 金星	トライン	悠斗さん 金星	0.67°	好み・価値観の強い親和
奈緒さん 火星	コンジャンクション	悠斗さん 火星	2.50°	行動テンポ・主張の強い同期
奈緒さん 月	オポジション	悠斗さん 天王星	4.75°	安心と自由・変化の緊張
奈緒さん 月	オポジション	悠斗さん 海王星	0.28°	安心と曖昧さ・理想化の緊張
奈緒さん 水星	スクエア	悠斗さん 冥王星	3.78°	重要な会話の強度・深追い
奈緒さん 金星	スクエア	悠斗さん 冥王星	0.98°	愛情・価値の強度、手放しにくさ
奈緒さん 土星	トライン	悠斗さん 月	4.09°	感情へ構造と安定を作る資源
奈緒さん 土星	セクスタイル	悠斗さん 金星	2.40°	愛情をルール・継続へつなぐ資源

時刻依存項目について

悠斗さんの出生時刻は記録確認済みではないため、悠斗さん側の ASC・MC・ハウス重ねは主要判断に使用していません。奈緒さん側 MC への接触は算出されていますが、本文では関係の中心結論には置いていません。

EVIDENCE CONTINUED

APPENDIX 四柱推命・姓名判断・MBTI

四柱推命 - 二者比較で使った主要構造

項目	計算結果	本文での読み
日主同士	悠斗さんの「水」が奈緒さんの「木」を生じる / 陰陽は反対	支援・供給方向が悠斗さん→奈緒さんへ出やすい。役割が一方向へ偏る可能性も含む
奈緒さん→悠斗さん	相手の日干を印綬として見る	奈緒さん側からは、悠斗さんを受容・支援・落ち着きを与える存在として感じやすい
悠斗さん→奈緒さん	相手の日干を傷官として見る	悠斗さん側からは、奈緒さんの表現・改善・批評の力が刺激になり、負荷時には圧に感じやすい
日支同士	巳・寅の「害」	見えにくいズレが残りやすく、近さの中で微妙な違和感をためやすい
二命式を合わせた関係	巳・午・未の三会が完成	二人が合わさることで動きや一体感が強まりやすい
二命式を合わせた関係	寅・巳・申の刑が完成	内側の緊張・調整テーマも同時に強まりやすい。近さと緊張が同居

姓名判断 - 各人の背景情報としてののみ使用

氏名	人格	地格	外格	総格	本文での位置づけ
奈緒	16 / 統率・人望	22 / 中断・協力	17 / 積極・前進	33 / 躍進・達成	前へ動く力・関係を整えようとする力の補助背景
悠斗	18 / 発展・責任	15 / 福德・繁栄	8 / 勤勉・堅実	26 / 変動・挑戦	責任感・堅実さと、変化を抱える補助背景

姓名判断については、二人の画数を組み合わせた独自の相性計算は行っていない。それぞれの個人背景としてのみ補助的に参照しています。

本人申告 MBTI - 行動翻訳として使用

氏名	本人申告	今回の照合
奈緒さん	ENFP-T	人とのやり取りの中で考えを広げ、曖昧さを会話で整理したくなる行動パターンの補助
悠斗さん	ISTP-T	感情共有より先に、自分の内部で状況を整理してから必要なことを話したくなる行動パターンの補助

TIMING EVIDENCE

APPENDIX 時期計算の主要根拠

奈緒さん側 - 本文で使用した主な時期

期間 / 計算ピーク	主要接触	本文でのテーマ
2026/9/24-10/11	土星 - 月 スクエア	感情を急いで動かさず、責任・境界を整える
2026/9/24-11/21	天王星 - 太陽 セクスタイル	自己像・動き方の更新
2027/2/27-4/1	土星 - 水星 トライン	落ち着いて言葉を組み立てる
2027/3/2-5/26	木星 - 金星 コンジャンクション	関係・価値・好意の拡張
2027/3/22-4/23	土星 - 金星 トライン	関係を現実的に整える
2027/6/15-2028/1/30	冥王星 - 太陽 オポジション	自己像・関係の深い再編
2028/5/10-6/14	土星 - 太陽 スクエア	方向性と責任・制約の調整
2028/8/19-9/7	木星 - 火星 トライン	具体的な行動を起こしやすい
2028/9/9-9/24 以降	木星 - 太陽 セクスタイル	前向きな展開・自己方向の拡張

悠斗さん側 - 本文で使用した主な時期

期間 / 計算ピーク	主要接触	本文でのテーマ
2026/9/24-10/5	木星 - 金星 トライン	関係・好意に開きが出やすい
2026/10/21-2027/1/29	土星 - 天王星 スクエア	自由と構造の組み替え
2026/10/24-2027/1/14	天王星 - 火星 コンジャンクション	行動パターンの変更・急な動き
2027/2/24-5/31	木星 - 金星 トライン	関係・価値の拡張
2027/3/28-4/29	土星 - 金星 トライン	関係を現実的に整える
2027/4/10-5/13	土星 - 月 セクスタイル	感情を落ち着かせ、形にする
2027/7/30-11/2	天王星 - 太陽 オポジション	自己像・自由の大きな更新
2028/8/20-9/9	木星 - 水星 スクエア	会話や判断を広げすぎない
2028/8/31-9/19	木星 - 火星 トライン	具体的な行動を起こしやすい

四柱推命の時期背景

年	奈緒さん	悠斗さん	関係への読み
2026 丙午	傷官	偏財	動き・表現が増えやすい。現在は結論より反応パターンの整理を優先
2027 丁未	食神	正財	柔らかい表現と現実的な関係運用を組み合わせやすく、再設計に使いやすい
2028 戊申	正財	偏官（七殺）	現実処理と圧力・決断が前に出る。関係が実際に回るかを試す年

CLOSING

最後に

奈緒さん、この鑑定で一番大事なものは、「相性が良いから戻るべき」「難しいから諦めるべき」という二択ではありません。二人には、自然に惹かれ、会話が通じ、同じ方向へ動きやすい資源があります。同時に、不安が出た時の距離調整だけは、放っておくと反復しやすい構造です。

だから、次に見るべきなのは彼の気持ちを当てることより、二人が以前と違うやり方を取れるかどうかです。奈緒さんが一通で止まれるか。悠斗さんが距離を取る時に出口を作れるか。話し合いを一回一テーマにできるか。ここが変わった時、復縁の意味も変わります。

迷った時に読み返すポイント

- 「連絡したいか」ではなく「追撃せずに一通で終わられるか」
- 「復縁したいか」ではなく「同じ緊張場面で違う行動が取れるか」
- 「相手の気持ちはあるか」ではなく「現実にも双方向性が戻っているか」

この鑑定を踏まえて、次に見る価値が高いテーマ

今回の鑑定だけで、相性・反復パターン・再接続条件・今後2年の時期までは回答しています。そのうえで、もし実際に再接続が始まった後にさらに深掘りするなら、次の二つだけが候補です。

- 「再会後の実際のやり取り」を材料にした関係調整 - どの言葉・距離で以前のループが再発しているかを現実の会話と照合する。
- 生活・結婚まで進める場合の長期運用 - 連絡頻度、一人時間、仕事、住まい、役割分担を5年単位で見る。

理運鑑定室

相性・関係再構築鑑定書 | 奈緒さん × 悠斗さん